

# 角度測定器

## 角度台兼用桁形ブロック

### 取扱説明書

「正しくお使いいただくために、必ずご使用前には、この取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。  
またお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。」



株式会社 大菱計器製作所

## 安全上のご注意

※ご使用の前に、この **取扱説明書** をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危険を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした場合に想定される内容を **危険** **警告** **注意** の3つの区分にしています。

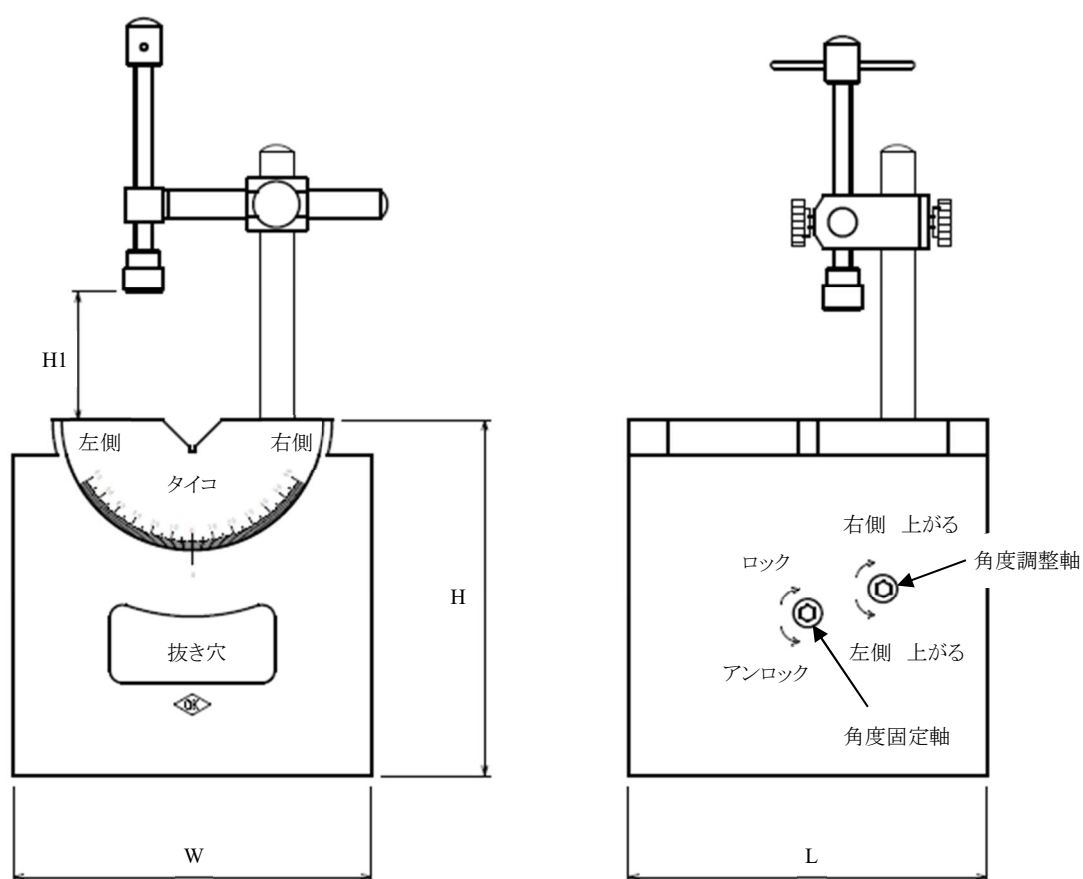
安全に正しくお使いいただくために	
<p>この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために、本文中に色々な図記号や絵表示を示しています。</p> <p>その表示と意味は、次のようになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。</li><li>● お読みになった後は、この製品をお使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。</li><li>● 全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。</li></ul>	
 <b>危険</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じる切迫の度合いが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性、或いは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号の例	 <p>△ 記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを知らせるもので、図の中に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な危険・警告・注意の通告に使用)</p>
	 <p>○ 記号は、禁止の行為であることを知らせるもので、図の中や下部等に具体的な注意内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な禁止の通告に使用)</p>
	 <p>● 記号は、行為を強制する内容を知らせるものです。 図の中に具体的な強制や指示の内容が記載されています。 (左図は、特定しない一般的な強制や指示に使用)</p>

# 角度台兼用枳形ブロック 取扱説明書

## 1. 製品の特長

- ・ ハンドル操作により、左右それぞれ 60 度まで傾斜させることができます。
- ・ 上面と底面の平行は、0 度のときに確保されています。
- ・ 目盛りは左右 60 度の範囲で、1 度刻みになっています。
- ・ ワークを固定するクランプと回転ハンドルが付属しています。

## 2. 姿 図



### 3. 仕 様

コード No.	呼び寸法	寸法 (L×W×H mm)	クランプ範囲 (H1 mm)	平行度 ( $\mu$ m)	質量(kg)
NB101	150	150×150×150	65	18	15
NB102	200	200×200×200	100	20	30
NB103	250	250×250×250	100	23	55
NB104	300	300×300×300	100	25	100

### 4. 使用方法

#### 【V溝の使用】

- ① 本器をきれいに拭き、定盤に載せる。
- ② ワーク固定用金具を取り付ける。
- ③ ワークをきれいに拭いて、V溝にセットする。
- ④ 固定金具等を使用してワークを固定する。
- ⑤ 本器を使用する角度に合わせて、角度調整軸を操作し傾けます。
- ⑥ ワークにダイヤルゲージの測定子をあてて測定する。
  - ・ダイヤルゲージを取り付けたスタンドを定盤の上で滑らせて測定する。もしくは、  
枳形ブロックをすべらせて測定する。
- ⑦ 測定終了後、ワークを取り外す。
- ⑧ 本器の角度を元に戻す（傾斜状態でも良い）。

#### 【平行台として使用】

- ① 本器をきれいに拭き、作業台に載せる。
- ② 角度調整軸を操作して、枳形ブロックとタイコの角度目盛りをゼロに合わせる。
- ③ 測定を行う。
- ④ 測定終了後、ワークを取り外す。

### 【注意事項】

- ・本器の固定やワークの固定は、動かないようにナット等をしっかり締めてご使用ください。
- ・榊形ブロックの角度目盛は1度刻みとなっており、角度設定の目安としてご利用いただけます。
- ・角度固定軸をロックすると角度調整軸が押され、調整した角度に若干の変化が生じます。角度の確認を行ってからご使用ください。(変化量は数 $\mu\text{m}$ 程度です)
- ・丸ワークをセットした際に角度設定を行うと、ワークの高さが変わることがあります。
- ・榊形ブロックを固定する際は、抜穴部をご利用ください。

## 5. 使用上の注意

- ① 使用前には、使用面及びワークの測定面をきれいにしてください。
- ② 使用するときや保管時に、本器に衝撃を与えないよう注意して取り扱ってください。
- ③ 使用するところの温度になじませてご使用ください。
- ④ 温度変化の甚だしい場所等での使用や保管はしないでください。
- ⑤ 使用後は必ず防錆処理を行い、格納箱に保管してください。
- ⑥ 以下のような場合には、本器の異常の有無を確認してから使用してください。
  - ・本器を落下させたとき。
  - ・本器上に物を落下させたとき。
- ⑦ 定期的に精度チェックをして使用してください。
- △ ⑧ 製品に鋭利な部分がある場合は、取り扱い時に指や体の他の部位を傷つけないよう注意してください。
- △ ⑨ 重量がある製品の場合、設置等は2人以上で作業をしてケガには十分注意してください。
- ⑩ 必要に応じて保護手袋や保護眼鏡を着用して作業を行い、怪我を防いでください。
- △ ⑪ 損傷または劣化した本品を使用しないでください。怪我や事故の原因となる可能性があります。
- △ ⑫ 怪我が発生した場合は、直ちに応急処置を行い、必要に応じて医師に相談してください。

JIS 認証取得工場



## 株式会社 大菱計器製作所

OBISHI KEIKI SEISAKUSHO Co., Ltd.

本 社 〒940-1164 新潟県長岡市南陽 1 丁目 1216-1

工 場 TEL (0258) 22-1100 FAX (0258) 22-0014

東京営業所 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3 丁目 5 番地

TEL (03) 3293-8881 FAX (03) 3293-8884

名古屋営業所 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 3 番 15 号 日重ビル 2F

TEL (052) 322-4031 FAX (052) 322-5647



■本社・工場

■精密測定機器の設計・開発、製造ならびに校正サービス

(水準器、定盤、直定規、測定基準器、直角定規、ブロック、  
ダイヤルゲージスタンド、コンパレーター、偏心検査器、直角度測定器)

ISO9001 認証

JQA-QMA11294